



No. '25-1

(No.120)

Jan. 2025

ISGG NEWSLETTER

伊東市善意通訳の会

C O N T E N T S

1. 年頭にあって	会長 主原 一雄	2
2. 令和7年、年初のひとりごと	菊池 善次郎	3
3. 全国通訳案内士受験の顛末記	加茂野まり子	5
4. 国際交流フェスタ 2004 に参加して	稲葉 尚子	8
【K's サロンからの報告】	小松 透	9
【新入会員紹介】	中原 雅哉	12
【事務局便り】		13
【編集後記】		14



年頭にあって



会長 主原 一雄

昨年元旦に能登半島地震が起き、大変な幕開けとなりました。又、今年1月17日は阪神大震災から30年でした。多くの方々も同じと思いますが私はこういった大災害が起きるとその日の行動を克明に記憶しています。東北大地震では発生から1年後、定年退職した後ですが1週間単位で5度がれき処理のボランティアに主に南三陸町に行きました。能登半島地震の際は残念ながら石川県の知事が民間・個人のボランティアは能登に来ないでくださいというような発言をされたと記憶しています。こういう災害が起きると当然多くの方々が困難に直面されます。その中で日本語に不自由な方々も多くいらっしゃいます。外国語ができる一人としてこういった時に少しでもその方達のお役に立てたらと思います。

さて冒頭から重い話になりましたが2024年の伊東善意通訳の会は例年通り多くの活動を行いました。川奈ホテルでのMary Ashleighさんによる第4回英語講演「マリリンモンロー：変革の旅 in Japan」を始め月例で行っているイチゴサロン、土曜会、K‘サロン及び英語サロンは活発で楽しい集まりでした。当会の自慢でもあるNewsletterも予定通り4回発行されました。又、伊豆に赴任したALT達の歓送迎会や多くのゲストを迎えての忘年会も楽しい思い出です。伊東国際交流協会、郷土研究会、PTPI等、多くの団体との協力活動も行いました。又、大変うれしいことですが新たに4名の新会員を迎えることもできました。

伊東市善意通訳の会としてはこれからも多種の活動を通じ、会員全員が楽しくやりがいのある活動に携わっていければと思います

令和7年、年初のひとりごと



菊池 善次郎

新年あけましておめでとうございます。令和7年元旦午前6時53分、水平線に黒く浮かぶ伊豆大島の左端から新春の太陽がキラリと顔を出し、城ヶ崎海岸門脇岬を照らし始めました。

今年はラッキーセブンの年号です。いい年となることを新春の太陽にお願いしました。

考えるに去年は世界中でほんとにいろんなことがあった年、ではなかろうか。

日本では元旦早々の能登半島大地震。翌2日は羽田空港で JAL 機と海上保安庁機（以下、海保機）の衝突・炎上・大破。海上自衛隊ヘリの空中衝突・墜落（伊豆諸島沖）。そして猛暑・酷暑・激暑。



令和7年の初日の出
（伊東市城ヶ崎海岸門脇岬にて撮影）

能登半島の豪雨。34年振りの円安/ドル高。これに関連した国内物価の超値上がり。闇バイト強盗・殺人の横行。34年振りの新札（千円/五千円/1万円）発行。その他、小林製薬『紅麹^{べにこうじ}』事件、明るい話題として日本被団協にノーベル平和賞、etc. etc.

また、有名人がたくさん亡くなりました。小澤征爾氏、西田敏行氏、北野富士勝昭氏、俳句の鷹羽狩行氏（城ヶ崎海岸橋立に句碑あり）、ピアノのフジコヘミングさん、元ペルーの大統領フジモリ氏、そして”太陽がいっぱい”のアランドロンさん、etc. etc.

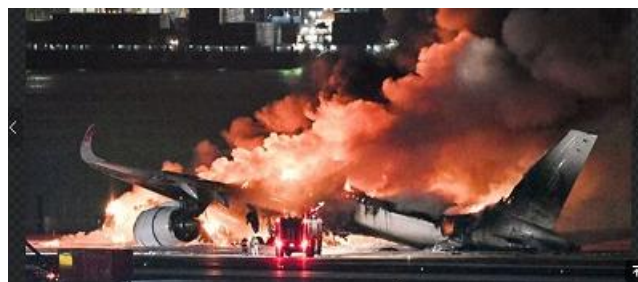
世界に目を移すと、アメリカ大統領選で「もしトラ」が「またトラとなり、しかも圧勝」。ウクライナ/ロシア戦争は泥沼化。ロシア軍と北朝鮮兵の共同作戦。イスラエル/パレスチナ紛争は長期化/不透明。シリアでは半世紀続いたアサド独裁政権が崩壊。韓国の戒厳令とユン大統領弾劾問題。韓国済州島（チェジュ）空港のLCC飛行機の大事故（180人中179人死亡）。Red Seaの船舶無差別攻撃は止むことなし。台湾の大地震。イランのイスラエル攻撃。中国/台湾/南シナ海問題の激化。スーダンやミャンマーの内紛。そしてアメリカのハリケーン多発や世界各地での高温/豪雨/洪水等の異常気象現象。etc. etc.

etc. 思い起こせばきりがない。

総じて云えることは政治、経済、生活、自然、地球環境が^{ことさら}殊更不安定になった昨年ではなかったか。地球上何が起こるか予測困難/不透明/不安定の時代になった様な気がします。

私たち善意通訳の会に関係する話題として、昨年はインバウンドの数がコロナ禍前を遥かに上回り、3,700万人近くと過去最高を記録したとのこと。34年振りの円安ドル高で、私たちは物価高で苦しい中、外国人はこぞって安全/安心の日本へ押し寄せたと云うことか。有名観光地や温泉地でオーバーツーリズム問題発生、地域住民の生活や自然環境に悪影響が出たところが多々あったと云う。私たちの伊東市はどうだったのだろう。外国人が増えたのは間違いないけれど、私たちへのガイド依頼はミニマムだった様に思います。AI やスマホに私たちの仕事（楽しみ？）を奪われてしまったのだろうか。

世界のニュースをひとまず横に置くとして、日本の事件/事故の中で^{いま}未だに私の頭から離れないのは羽田空港での JAL 機と海保機の衝突・炎上・大破の事故です。空と海の違いはありますが、船の安全運航を現場で、或いは陸上オフィスで躍起となって旗振りしてきた自分としては他人事とは考えられません。事故当初から「なぜ？」、「どうして？」、「あるいは？・・・かも？」、「やっぱり！」などあれこれ考えてきたところです。昨年 12 月 25 日、国の運輸安全委員会から事故原因の中間報告が公表されました。それによると事故の主因は『海保機機長の空港管制官の指示内容の思い違い、間違った解釈（早ガッテン）とそれによる間違った行動、所謂、ヒューマンエラーが最大の事故原因』ということです。海保機は大破、乗員 6 人中 5 人死亡、機長は命は助か



ったものの大怪我と云うものでした。一方、JAL 機は乗客・乗員 379 人が乗っていましたが燃える機内

炎上する JAL516 便(羽田空港 2024 年 1 月 2 日 1800 頃)
(日経新聞コピー)

からの超短時間/^{かみわざ}神業的脱出で、乗客・乗員の全員が助かりました。JAL 乗務員の非常時の対応と乗客全員の行動に世界のメディアが「奇跡の脱出」と称賛していました。素晴らしい！

「激暑、猛暑、地球が沸騰！」というのも昨年の話題の一つでした。世界気象情報機関の発表によると昨年の地球の気温は約 200 年前（産業革命前）の平均気温に比べ 1.5℃も高かったと云う。人間に例えると、平均体温を 36.5℃とすれば 38℃の高熱になったと云うこと。コロナか？インフルエンザか？と病院騒ぎの状態です。昨年の夏はホントに暑かった！

私、伊豆高原に住み出してから丁度 50 年。当時は昼間少々暑くても夕方には涼しくなり、家にエアコンなど必要なかった。近年になってエアコンはつけたものの夏でもほとんど使ったことはなかった。それが昨年はどうでしょう。毎日、毎日、夜になっても気温は 25℃を超え下がろうとしない。エアコンをこんなに使ったのは伊豆高原に住んで初めてでした。間違いなく地球は沸騰し始めています。そんな思いでした。

NHK テレビ番組「英雄たちの選択」で司会役をされている歴史家の磯田道史さん^{いわ}曰く。『歴史（を勉強すること）とは現代と過去との対話である。そして未来を生きる（ための）糧である』。

その様な主旨のことを言っています。こういろいろ起こる世の中です。ついこの間の出来事（歴史）でもしっかりリマインドし明日（未来）を平穏無事に過ごす糧とすることが大事ではなかろうか。そんなことを考えながら昨年のニュースをもう一度振り返って見た次第です。

自然災害への備え、うっかりミスなどヒューマンエラーによる怪我をしないよう、病気にかからないよう、自動車事故を起こさないよう、闇バイトやネット犯罪へ関わらない/引っかからないよう、もう一度身の回りをレビューし、ラッキーな令和 7 年を過ごしたいと思います。

みなさんも令和ラッキーセブン年を「ラッキー」にお過ごし下さい。

全国通訳案内士受験の顛末記



加茂野 まり子

2024 年 2 月 8 日、官報の合格者名簿に自分の名前を見つけた時、

「やったー」と声をあげていました。ああ、やっと二年間の努力が報われた！

振り返ること3年前の2021年11月、さて来年は何に挑戦しようかと考えた時に、30代の頃に一度受験して失敗した「通訳ガイド試験」（現在の名称は“全国通訳案内士”）を思い出し、元気なうちに再挑戦してみようと思い立ちました。善意通訳の会の活動を始めていたことも気持ちを後押ししたと思います。

まずは受験要綱を確認したところ5科目にそれぞれ免除規定があることを知り、時間的に可能なTOEICでの「英語」試験の免除を目指すことにしました。1月から30年振りのTOEIC受験の臨んだものの、やはりブランクが大きいこともあり要領も悪く、3度目の受験でなんとか基準点をクリアし、全国通訳案内士受験の願書提出に間に合いました。

とはいうものの、他の4科目（歴史、地理、一般常識、旅行業務）の勉強も範囲が広すぎてなかなか手強い。4月から勉強計画を立て、ほかの趣味習い事は休んで試験勉強に集中しました。8月末の第一次試験に向けて1ヶ月前からは毎日8時間くらい勉強しました。それでもやり残した範囲が沢山あり、頭が破裂するのではないかと思う状況で試験日を迎えました。結果は歴史のみ不合格。それも1問の違いで。

さて、1年後に歴史を再受験して合格を目指すかどうか非常に悩みました。家族（夫と猫7匹）にもまた協力をお願いしなくてはならないし、気力と体力が持つかどうかも心配でした。でも、目指したからには絶対合格しようと決意し翌年の再受験に臨みました。そしてなんとか第一次試験は全科目合格となり、いよいよ12月の第二次試験（面接）です。試験は1人約15分間で、最初に3つ与えられたテーマから1つ選び英語で2分間説明（ガイド）します。その後に質問があり、次に試験管が読み上げる日本語を英語で逐次通訳、そして最後に訪日客が遭遇したトラブルにどのように対応をするか、という内容でした。とにかく15分間は話し続けることが肝心と聞いていましたので、何がなんでも喋らねば、と必死でした。

第二次試験が終了してから合格発表まで2ヶ月間あります。あまり自信がなく「失敗したなあ」と思っていたので、結果が出るまで何も手がつかないほど不安でした。

めでたく合格したものの、資格を得ただけで即通訳ガイドができるわけではありません。まず、政府観光庁が指定するいくつかの団体が実施している新人研修を受けることが求められます（義務ではありませんが）。私は自分のスケジュールに合った団体を選び入会してから3月から6月まで新人研修を受け、それと並行してその団体が提供するテーマ別・場所別の研修や日本文化の講習などをいくつか受けました。研修を終えると、まずインターンを経験してから実際のガイドの仕事に応募できるようになります。また新人研修の最後にあるプレゼンテーションの評価がガイドをアサインされる際に重要な判断基準になります。このプレゼンテーションもガイド試験並みに準備が大変でした。3分野から7題ずつ合計21題を選び其々5分間のガイド準備をするのですが、試験当日は3題のみで何が当たるかわからないのです。さらに、団体客を案内する際に必要とされる「旅程管理主任者」という資格を取得するためのオンライン講座も受けました。

そんなこんなで、さて私は一体いつガイドデビューできたのでしょうか？ 実はまだできていないのです。9月から何度か応募しましたが、始めて10月にアサインされた清水港のクルーズ船ガイドは参加者が少なくなりガイド数も減らされて新人の私には仕事が回ってきませんでした。先輩ガイドに聞いたところ「よくある話」だそうでした。この10月のガイドの準備がとても大変だったので残念でした。案内先（清水港、久能山東照宮、富士山本宮浅間大社、広重美術館、駿府城などなど）をじっくり下見に行き、案内のスク립トを書き暗記して準備万端に近い？ことをしていたのに、です。

日本文化体験の講師にもいくつか応募し、折り紙体験のインターンや書道体験のインターンもやり、結果として2024年度は書道体験の講師を一度アサインされただけでした。

研修ばかり受けてきた2024年でしたので、夫からも私があまりにも頻繁に東京に出かけていきクタクタになっている様子を見て「70過ぎてやることじゃないよ」と呆れられました。あまり無理せず楽しんでやるように、とも言ってくれますので、今年はせっかく取得した資格を活かしてガイドの仕事ができたと思っています。さて、どうなりますことか。

国際交流フェスタ 2024に参加して



稲葉 尚子

2024年11月3日に行われた国際交流協会主催の「国際交流フェスタ in IT0」に今年も参加し、楽しい、有意義な一日を過ごさせていただきました。

今年は会場入り口のところにブースをいただき、そのせいか大勢の方にたちに寄ってもらえました。Newsletter のファイル、引き伸ばした写真、25周年記念冊子等を見、会員の説明を聞いて、ISGG に興味を持って連絡先を書いてくださった方も多く、実り多い一日でした。

天気に恵まれたこともあり、会場の中も外も多くの人でにぎやかで、色々な国のブースもステージもとても充実していました。

ロシア人の方がロシアブースを開いていて、今の世界情勢から反感を持つ人がいないか心配していたのですが、ロシアの民間や日常を一生懸命説明している姿、それを温かく聞いている伊東市民を見ていて政治と国民は違うと強く感じました。改めて民間交流の大切さを思い、ISGG もその一端を担わなければ、という思いを強くしました。



ISGG ブースで会員とビジター



ステージのーコマ



【K's サロンからの報告】



小松 透

2023 年 7 月に再開した K's サロンは加藤守康さんのリードで順調に継続しています。以前にも Newsletter で紹介されましたが（114 号と 115 号）、直近 3 ヶ月分の報告を致します。

第 11 回 K's サロン 2024 年 9 月 26 日（木）

参加人数： ISGG 5 名、ゲスト 4 名

Felix(男性)とLiliam(女性)はドイツ Köln 近郊から来たカップル。



修善寺、河口湖などを巡って来た。次は京都に行く予定。Felix は空手の選手で、どこかで試合をする

予定。

Liliam は Vegan なので京都の精進料理に期待している。錦市場も行きたい。「おばんざい」を Buffet 形式で食べられるところがいくつかあると勧めた。ちなみに食べ放題をバイキングというのは和製英語。

Tamara (女性) もドイツから来た。熱海、三島に行って来た。浅草合羽橋で箸やしゃれた包丁を買ってきて見せてくれた。着ているかわいい忍者猫の T シャツは日本ではなく、スペインで購入したもの。

Joy (女性) はアメリカ、New Jersey 出身。Boston にも長い。日本語を勉強中。しばらく無口だったが、話し出したら早口で止まらない。緑風園や大東館の温泉に割引で入れるので通っている。Joy もこれから京都に行く。

ドイツの人が多かったので、ローライや Romantic 街道などの話に花が咲いた。混同しがちだがローライは人魚ではない。人魚姫の像はデンマークにある。

豆知識：「バイキング」は昭和 33 年にスカンジナビア料理であるビュッフェ形式のスモークスボードを提供したレストランの名前に由来する。当時「バイキング」という映画も話題だった。

第 12 回 K' s サロン 2024 年 10 月 17 日 (木)

参加人数： ISGG 5 名、ゲスト 5 名

羅 (ロー) さん (男性) と林 (リン) さん (男性) は、共に中国広東省中山市 (チュンサン) 出身の友達同士。

羅さんは九州大学で生物学を専攻した。5 年前から広島の人に勤務している。日本語に不自由はしない。

林さんは羅さんを訪ねて来た。林家立という名前だが、英語名 Charlie を使っているので英語は慣れているようだ。

George (男性) はオーストラリア西部の Perth から来た。動物の話が楽しかった。エミューはたくさんいて、そのタマゴは大きいけどおいしくない。カモノハシは英語で Platypus だが Duckbill とも言う。これが鴨のくちばし。Platy とも言ったかも。また、クアッカという小さなカンガルーが可愛くて人気がある。次の日は大室山に行くと言うので、シャボテン公園で行われるカピバラの長風呂温泉競争を紹介した。George はプールを直す仕事をしている。ビジネスコースの勉強をして自分の会社を持ちたいと夢



を語った。

Artho(男性)と**Sandy(女性)**はオランダ Rotterdam から来たご夫婦。Artho は今回が 9 回目の来日。日本はだいぶ回ったが北海道と沖縄へはまだ行ってない。ロッテルダムから来たという事でリーフデ号や三浦按針、ヤンヨーステンの話で盛り上がった。

K' s ハウス宿泊旅行者に伊東に来た動機をたずねると、自然が豊かで、見るべき場所があり、東京ほど混雑しておらず、静かで居心地のよい温泉地だからという答えが返ってきた。

Artho もそうだが、山梨県の河口湖へ行って、富士山を見る（見た）と言う旅行者が多い。

今回も家族的な雰囲気の中で、異文化コミュニケーションを楽しむことができて良かった。

21 時、互いの目的・目標達成を願いつつ別れを告げ、雲間に浮かぶ真ん丸な Super Moon を眺めながら、家路についた。

第 13 回 K' s サロン 2024 年 11 月 14 日（木）

参加人数： ISGG 3 名、ゲスト 3 名

チリから来た **Sebastian(男性)** は日本が大好き。

小津安二郎の映画（原節子の晩春など）が好きで、

古い日本の事をよく知っている。日本に初めて来たのは

2018 年。K' s House でヘルパーをしながら泊っている。国際交流協会で H 先生に付いて日本語を勉強していて、今日が最終日。ここでも日本語を話したくてたまらない。河津七滝や修善寺などを歩いたが遠くは行ってない。東北地方など行きたい所はある。これから東京に移動する。

イギリスから来た **Alex(男性)** は日本に来て約 1 ヶ月。K' s House でヘルパーをしながら泊っている。

やはり国際交流協会で日本語を勉強している。国際フェスタにも来ていた。背が高い男性。これから大阪に行ってやはり働きながら滞在する予定。ロンドンの西の郊外出身。

フランスから来た **Emily(女性)** は会の終了間際に声を掛けて入ってもらった。伊東に来たのは海と山があり小さな町だから。出身は大西洋岸の漁港のある町で伊東に似たものを感じる。出身地はよく聞き取れなかったがブルターニュだと思う (Brittany / Bretagne)。英語が流暢だった。近くの「舟や」レストランに行くととてもよかった。



Emily も入って話が尽きず、9 時の閉館まで居てしまった。

【新入会員紹介】

中原 雅哉



初めまして。中原と申します。つい先日、1月の観光番でのイチゴサロンにて入会させていただきました。

2017年に、横浜市青葉区より伊東に居を移してまいりました。最近まで、犬が二匹一緒だったのですが、一匹を一昨年11月に、もう一匹を去年5月に亡くし、今は妻と二人で一碧湖の近くに住んでいます。

家の前に立つと、富士山から相模湾、小室山・大室山と望むところにて、その眺めだけで大きな幸運をつかんだものだと感じています。娘が一人いますが、これはスペイン人と結婚して、横浜の団地に住んでいます。

両親が東京から神戸に駆け落ちして生まれた私は、小学生まで神戸にいて、中学・高校と東京の学校に通い、大学でまた神戸に戻りました。大学卒業後富士通に入社して、30年以上海外事業の開拓に携わってまいりました。富士通での最後の5年間はカリフォルニアの販売会社に出向していたのですが、その際に、米国のあるIT企業に誘われ、日本に戻ってきた後、アジア・パシフィック地域の代表として働きました。その会社での4年目に契約解除(クビ)を察した私は自分の会社を起業し、米国製のリモートワーク用ソフト製品の販売を続け、現在に至ります。まだ売上もなく、私一人で、バタバタやっている状況です。

中学・高校は、東京の目白にある獨協学園に通いました。この学校の卒業生の一人に、伊東にゆかりのある木下奎太郎がいます。高校の時の一人の英語教師が、教科書・単元を無視して、英詩の朗読ばかりをさせる

人だったのですが、この先生が木下圭太郎の大ファンであり、偉大なる医者兼作家の話を情熱的に語っていたのを記憶しています。

その後、一度社会に出て二浪の末に、神戸外大の英米学科に入りました。3年次から語文コースか法経商コースを選択することになり、私は法経商コースの方を選択しました。神戸市の上級試験を受けるためです。頑張ったので神戸市には合格したのですが、ゼミの先生から君に公務員は似合わないと言われ、富士通に入りました。

ちょっと言い訳がましいことを申しますが、当時かなりのレベルの貧乏かつ金のかかるスポーツ(スキー)などやっていたものですから、部活とアルバイトに起きてる時間のほとんどを使い、英語はほとんど身に付きませんでした。会社に入ってから「外大出の外語知らず」、「史上最悪の採用ミス」などと揶揄され、今で言うパワハラを、それと知らずに、耐えておりました。

妻とは、大学1年からの付き合いです。彼女は、イングランド、シンガポール、上海、カリフォルニアへの出向に帯同し、各地でいろんな文化を吸収してきました。幼少のころから続けている茶道を含めて、多才です。如何せん、身体があまり強くないのと極度の高所恐怖症。病気ではなく、心は元気なので、いつか機会があれば紹介させていただくことができればと思っています。

善意通訳の会では、なるべく多くのイベントに参加させていただき、それらを通じて国際交流に何らかの貢献ができればと考えます。皆さま、なにとぞよろしくお願いいたします。

【事務局便り】

個人的な話ですが私のボランティア精神に大きな影響を与えた Jimmy Carter 元アメリカ大統領が昨年12月29日に亡くなりました。在職時代よりも退任後多くのボランティア活動、それも実際にペンキを塗ったり釘を打ったりする、を通じ多くのアメリカ人そして海外の人々にも尊敬されていた方でした。

さて当会では12月14日に6名のゲスト（アメリカ人5名とイギリス人1名）を迎え賑やかに忘年会を

開催しました。

又、月例で開催しているイチゴサロン、土曜会、K'sサロン、英語サロンも予定通り執り行われました。

【編集後記】

松もとっくに取れて、立春も間近の時期に、遅ればせながら、新年のご挨拶を申し上げます。

主原会長の年頭の辞にありますように、今年も講演会、イチゴサロン、英語サロン、K's Salon としてできれば本来のガイド、去年の PTPI の様な活動のお手伝い等頑張りたいものです。

菊池さん、今年もご寄稿、宜しくお願い申し上げます。

お書き頂いた通り去年は年始から年末まで、大変な年でした。

でも、文末で「lucky seven の年」とおっしゃっています。言われるまで全く気付きませんでした。そうです、今年は令和の lucky 7 の年、良いことを教えて頂きました。今年が良い年でありますように。

続いて加茂野さん、素晴らしいお話を有難うございました。

大変なご努力、頭が下がります。それより先ず「おめでとうございます！」

英語サロンでも、経過を詳しく伺いましたが、改めて、この難関を突破された並々ならぬご健闘そして、その体験談。感動、且つ尊敬の念、ひとしおです。

今後とも、私ども会員へのご指導のほど、何卒お願い致します。

稲葉さん、国際交流協会のフェスタの報告、有難うございました。

多くの方々に、お立ち寄り頂き 我々が ISGG の知名度も向上したと確信いたしております。お世話様でした。

「K's Salon からの報告」小松さん、短時間の面談の様子を細かく記録して下さい感謝申し上げます。

9月から11月の3ヶ月のサロンの楽しい様子が伝わってきます。加藤守康さん、小松さんご夫妻、いつもアレンジ有難うございます。そして、頑張って出席してくださっている相良さんにも感謝。

今年も K's Salon の運営を宜しくお願い致します。

新しく入会下さった中原雅哉さん、ご紹介文有難うございます。

謙遜なさっている分を差し引いて、しっかり読むと、海外生活（それも数ヶ国に亘て）も長く滞在とご体験が盛り沢山。この先、心強い会員である事、間違いありません。ご活躍を期待致しております。

今年は巳年、私は 巳（身）のほどをわきまえて、あまり蛇（heavy）な仕事はしたくないのは山々
なのですが、新年早々、そう蛇けん（邪見）なことも言っておられません。 早速に、この「編集後記」
を書けとの指令がおりて来たのでありました。

今年も、編集部では皆さんのご寄稿を心待ちに致しております。

TK 記（tea & cake）

伊東市善意通訳の会（ISGG）

会長 主原 一雄

（事務局）〒413-0232

伊東市八幡野 1324-40 主原 一雄

e-mail : larryn@estate.ocn.ne.jp

（編集委員） 稲葉尚子、曾我廣子、加藤達雄